

総合的な学習の時間

日 時 令和元年 7月2日 (火)
児 童 6年生 男子 名 女子 名 計 名
授業場
授業者

指導案

1. 単元名「自分史をつくろう～北海道史編」

2. 単元の見どころ

北海道の歴史を調査する活動を通して、北海道の歴史や文化について理解を深め、昔の北海道で起きていた事象を多面的・多角的に捉え、自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事から現在及び将来の発展を考えたりしながら、課題をよりよく解決しようとする態度を育む。

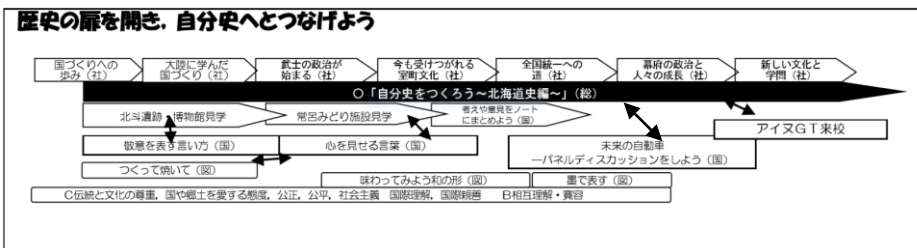
3. 単元観・児童観・指導観

本単元は、小学校学習指導要領解説（平成29年告示）総合的な学習の時間編の内容「第2の3（4）」における目標の実現に向けた探究課題として、地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人・もの・ことを取り上げ、設定した単元である。

全ての地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色がある。本単元では、よりよい郷土の創造に関わって、その地域において現在まで残されている古くからの伝統や習慣、気候や風土を生かした暮らしの様子などから生まれた「疑問」や「憧れ」、「可能性」などをもとに課題を設定し、児童がその課題に対し、地域における自己の生き方との関わりで考え、よりよく解決していくことをねらいとしている。

課題追究の場面においては、他者と協働しながら情報を整理・分析する活動を通して、積極的に社会に参画しようとする態度や、自分自身が学ぶことの意義を自覚、自分のよさや可能性に気付いたり、学んだことを自信につなげたりするなど「他者や社会、自分自身との関わり」で課題を解決していこうとする姿を引き出していきたい。

4. 学年・学級経営年間プログラムとのかわり



社会科における歴史の学習との関連で、既習内容をもとに資料提示することにより、「日本の歴史」と「北海道の歴史」に存在する「ずれ」に気づき、北海道独自の文化の流れに関心をもちながら、追究していく。また、北斗遺

跡見学、「常呂みどりの学校」での施設見学などを通して北海道独自の歴史を紐解いていくことで、地域の特色を生かした北海道の歴史が存在していたことを理解していく。また、単元後半では、国語科「パネルディスカッションをしよう」の題材の1つとして取り扱うことで、「整理・分析」場面において、様々な立場から地域社会の一員として意見交流を行い、北海道の歴史についてより深く考え、自他のよさを生かしながら協力して問題解決に取り組もうとする態度の育成を目指していく。

5. 単元を通して育むリーダーシップ・フォロアワーシップに関わる資質・能力

本単元では、自分たちの地域に受け継がれてきた文化について探り、児童1人1人が着目した時代における人々の生活の様子をもとに、「先人の思い」を捉え、北海道独自の文化の発展やよさについて理解を深めていく。その際、個々の児童の考えを取り上げ、どのような視点で情報を「整理・分析」することで「北海道独自の文化の発展やよさ」を見出していったのかを共有することで、他の児童がその追究の視点や方法を自分の「整理・分析」に生かしていく。また、他の児童の視点や方法を生かすことができた段階で、その理由や意図を交流する場面を設定し、個々の児童の「整理・分析」のよさが明確になり、無自覚であった自己の強みやよさに気付くことで、自分という「個」を見つめ直し、自己の生き方を考えていく姿につながっていく。このようなプロセスを通して「問題解決力・社会的協働性」を育成していく。

6. 評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア北海道の歴史は、本州の歴史と違いがあり、独特の歴史の流れや文化があったことや、その時代に合った人々の暮らしがあったことを理解することができる。</p> <p>イ北海道の歴史を、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、各種の基礎的資料を通して、北海道の歴史的特色や意味を整理することができる。</p>	<p>ア北海道の歴史の特色や意味を、多面的・多角的に捉え、考えたことを理由付けしたり構造化したりしながら、まとめることができる。</p>	<p>ア互いに調べた情報を進んで交流し、自分の考えや意見を伝えたり、相手の考えや意見を尊重したりしながら探究活動に取り組もうとする。</p> <p>イ北海道の歴史から、これからの自分たちの生活を考え、北海道の文化や習慣を大切にしていこうとする。</p>

7. 単元計画（別紙参照）

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 手立て
		知	思	主	
1	社会科（歴史）の既習内容を手がかりに、北海道の歴史について関心をもち、仮説を設定しながら調べる計画を立てる。	ア			手立てⅠ （1時間目） ・「衣食住」など人々の暮らしの様子から、文化の特徴を見出そうとしている児童の考えを取り上げ、文化を紐解く視点を整理し、追究の方向性を明確にしていく。
2	仮説をもとに、北海道の歴史について調べる。 ※史跡北斗遺跡、釧路市博物館、釧路市埋蔵文化財調査センター見学 他	ア			
3	調べた情報をもとに、北海道独自の時代・文化の発展があったことに気付き、それについて視点を整理しながら、詳しく調べる計画を立てる。		ア		手立てⅠ （2時間目） ・各時代に分かれて収集した情報をもとに交流する際、他者の追究を取り上げることで、「地域の特色との繋がり」で暮らしの様子を調べる姿を引き出していく。
9	アイヌ文化についてGTの話をもとに「暮らしの様子」と「思い・思想」との繋がり文化の様子を捉える。	イ			
10 ～ 14	「暮らしの様子」と「思い・思想」との繋がり、各時代の「文化」を紐解くための情報を収集する。 ※オホーツク流氷館、網走監獄博物館、モヨロ貝塚、北方民族博物館見学 他			ア	手立てⅠ （本時） ・「暮らしの様子」と「北海道独自の文化の発展のよさ」にどのようなつながりがあるのかを捉え、表現している児童を取り上げ、その追究の視点やよさを明らかにすることで、それを生かして、他の児童も自分の着目した時代の文化の特徴を捉えようとする姿を引き出していく。
15 本時	各時代の文化と「日本の歴史」を比較する活動を通して、北海道独自の文化の発展や、その特徴、よさを明らかにする。		ア		
16	北海道独自の文化の発展やその特徴、よさを「自分史」としてまとめて、これからの自分の生活との関連で捉え、表現していく計画を立てる。		ア		手立てⅡ （本時） ・他の児童の追究の視点を整理するきっかけとなった児童の、追究の視点や方法に着目し、問題解決にどのように生かされたのかを交流することで、他者の価値付けから、自己の強みやよさを自覚していく姿を引き出していく。
20	先人たちの思いと自分たちの生活を関連付けて、これからの生活に受け継いでいくべき文化について表現していく。			イ	
					手立てⅠ （16時間目） ・自分史に表現する際、収集した情報をもとに先人の思いに寄り添いながら表現しようとしている児童の考えを取り上げ、表現していくべき内容や視点、方法を明確にしていく。
					手立てⅡ （20時間目） ・他の児童が表現の視点を整理するきっかけとなった児童の追究の視点や方法に着目させ、問題解決にどのように生かされたのかを交流することで、他者の価値付けから、自己の強みやよさを自覚していく姿を引き出していく。

8. 本時案

(1) 本時の目標

各時代における北海道と日本の「暮らしの様子」を比較する活動を通して、北海道独自の文化の発展や、その特徴、よさを明らかにすることができる。

(2) 本時の展開 (15/20)

<p>学習活動 児童・生徒の姿 ○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明) 手立て</p>	<p>【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点</p>
<p>1. 前回の交流で足りなかった情報を追加・交流し、本時の課題を把握する。</p> <p>○なぜ、その情報が必要だと考えたのかを問いながら黒板にまとめていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代の土器や衣服の文様からも「思い」がわかる。 ・食べ物はずっと変わらないことから自然を大切にしていたと言える。 ・それって、アイヌ民族の考えに似ているね。 </div> <p>○なぜ、弥生時代が存在しないのか。北海道は遅れていたのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りは北海道には適していなかっただけだ。 ・弥生土器が見つかったので、交流がなかったわけではないはず。 ・北海道に合った別の発展があった。 </div> <p>『先人たちが築いてきた北海道独自の文化の発展や“よさ”とは？』</p> <p>2. 収集した情報から北海道独自の文化の発展やよさについて考える。</p> <p>○「地域の特徴」を生かした「暮らしの様子」を見出している児童の考えを取り上げて、「なぜ特徴を生かしたといえるか？」など考えの意図を問うI</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・この道具は、この地域によく生息している植物からできていて… ・北斗遺跡の竪穴住居の屋根には主に葦が使われていて… ・秋にはサケが遡上し、乾燥・保存することで一年間食料を確保していた </div> <p>3. 『地域の特徴を生かした暮らしの様子』という視点で自分たちの集めた情報を再構築する</p> <p>○日本の歴史との比較を促しながら、意見を集約することで北海道独自の発展やよさを明らかにしていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんと同じように考えると、米作りではなく狩りの技術を発達させたことで毛皮を上手に生かすようになり寒さをしのいでいたと言える (自然環境を生かす) ・北海道の寒い気候を生かし雪の中に食料を埋めて保存していた (気候を生かす) </div> <p>○どの時代にも共通して言える北海道独自の発展やよさってなんだろう？</p> <p>『どの時代も北海道の自然環境を生かした生活の様子があった(自然との共存)』</p> <p>4. 追究を振り返り、次時の「課題設定」へとつなげる</p> <p>○他の児童の視点や方法を自己の問題解決に生かして「北海道独自の文化」を明らかにすることができた段階で、それを生かそうと考えた理由や意図を交流する場面を設定し、互いの視点や方法のよさに児童同士が気付くようにする。II</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんの考えを真似て、地域の特徴と暮らしの样子の関連に気付くことができた。 ・使っている道具は違うが、△△さんと同じように考えると、どの時代も近くにある自然を生かして生活していたことがわかった。 </div> <p>5. 次時の学習の見通しをもつ</p> <p>○明らかになってきた「日本の歴史」との「ずれ」をもとに、北海道独自の発展や“よさ”に気付き表現していこうとする姿を引き出していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何か今の自分たちの生活にも生かされているよさをもっとありそう。 ・アイヌの方たちのように自分たちも発信したい。 ・もう一度アイヌの人に話聞いて北海道独自のものなのか確かめたいな。 </div>	<p>【知】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◇集めた情報をもとに、北海道の先人たちの思いを捉えている。</p> </div> <p>【思】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◇各時代の文化について、「地域の特徴を生かした暮らしの様子」という共通点で情報を整理・分析することができる。</p> </div> <p><手立てについて></p> <p>Iを講じることにより個の児童の考えから「北海道の特徴を生かした各時代の暮らしの様子」に着目して情報を見直す思考を引き出していく。またIIを講じることによって、その考えの視点や方法が他者によって価値付けされ、自己の強みを自覚する姿につなげていく。</p>